

震災から5年、いまできる応援をしよう。昨年290万人参加の「Search for 3.11 検索は応援になる」を今年も実施

～ Yahoo!検索で「3.11」と検索すると、1人につき10円を被災地復興支援へ寄付 ～

Search for 3.11 検索は応援になる：
<http://fukko.yahoo.co.jp/#search>

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、2016年3月11日（金）0時から23時59分まで、「Yahoo!検索」で「3.11」と検索すると、1人（※1）につき10円をYahoo! JAPANがユーザーに代わって被災地の復興支援団体に寄付をする「Search for 3.11 検索は応援になる」を実施します。復興支援特集企画「震災から5年、いま応援できること。」のサイト内では、寄付によって応援できることを紹介するムービー「検索することは、想うこと篇」と、この5年間で検索された東日本大震災に関するキーワードを可視化したムービー「ビッグデータ篇」を公開しています。

※1 検索者数はユニークブラウザ数で集計します。

Yahoo! JAPANでは被災地の課題解決に向け、さまざまな取り組みを行っていますが、「Search for 3.11 検索は応援になる」は、人々が3月11日という日に改めて被災地に想いを寄せ、現在の状況を知り、その先にある未来をともに考えていただけるよう、2014年より実施しています。過去2年間の寄付金額は、2014年に25,683,250円、昨年はそれを上回る29,182,780円となりました。

また今年は「震災から5年、いま応援できること。」というテーマで、Yahoo! JAPANが行っている主な取り組みを、テーマと同名の特集サイト（※2）にまとめて掲載。多様なコンテンツとともに、復興支援アクションにつなげやすい仕組みになっています。

※2 Yahoo! JAPAN「震災から5年、いま応援できること。」 <http://fukko.yahoo.co.jp/>

支援先団体の詳細は、以下をご確認ください。

■ 「Search for 3.11 検索は応援になる」

<http://fukko.yahoo.co.jp/#search>

実施期間：2016年3月11日（金）0時～23時59分

■ 「Search for 3.11」寄付先（寄付金は等分割にして10団体に寄付）

・一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン（宮城県）

漁業再生支援。若手漁師による次世代漁業環境づくり、販路開拓、ブランディング、情報発信を行う。

<http://fishermanjapan.com/>

・株式会社 小高ワークスペース（福島県）

避難解除地域支援。南相馬市小高区の新規事業支援に取り組む。

<http://owb.jp/>

・一般社団法人 ドリームプロジェクト（岩手県）

障がい者支援。陸前高田市ふるさと納税のお礼品発送業務など、経済的弱者の環境整備と支援を行う。

<http://dreamproject.big-apple.info/>

・特定非営利活動法人 南三陸ミシン工房（宮城県）

仮設住宅在宅業務支援。寄付などで購入したミシンを活用し仮設住宅でメンバーが縫製し、販売を行う。

<http://www.mishinkoubou.org/>

・一般社団法人 COOL AGRI（福島県）

農業再生支援。震災4年後の昨年3月11日に、福島県地域農業を先導する次世代農家集団として設立。

<https://www.facebook.com/COOL-AGRI-924004034284091/>

・いわきおてんとSUN企業組合（福島県）

自然エネルギー支援。いわき市民主体で持続可能な未来に向けたまちづくりに取り組む。

<http://www.iwaki-otentosun.jp/>

・特定非営利活動法人 吉里吉里国（岩手県）

林業再生支援。大槌町吉里吉里地区で森林資源を活用し、森と海の再生と雇用創出の両面に寄与。

<http://kirikirikoku.main.jp/>

・特定非営利活動法人 TEDIC（宮城県）

子供の貧困支援。子供達の居場所づくりや学習支援、子供のための食堂づくりなど多岐にわたって活動。

<http://www.tedic.jp/>

・特定非営利活動法人 マザーリンク・ジャパン（岩手県）

シングルマザー支援。被災地のシングルマザーが子供と共に生き抜くためのプログラム提供など。

<http://www.motherlink-japan.org/>

・ごしごし福島基金（福島県）

除染支援。放射線量が高い地域を中心に、国や自治体による除染活動の手が届かないところを支援。

<http://goshigoshi-fukushima.com/>

Yahoo! JAPANでは今後も、情報技術（IT）を通じて、人々や社会の「課題」を解決する「課題解決エンジン」として、さまざまな取り組みを進めてまいります。